

【デザイン】

DESIGN

by Water-n

下水道広報
プラットフォーム
広報大賞2020

準グランプリ

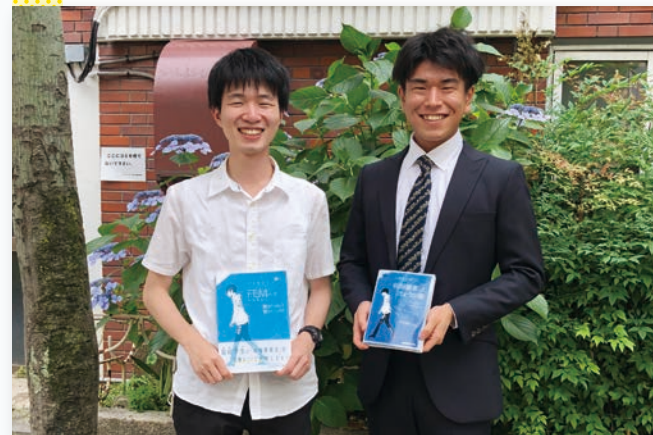


Vol. 12



Doboku Lab.

水 に向き合う若き研究者や学生達の活動にスポットを当て、水を学ぶ楽しさと醍醐味を教えてください連載「水Lab.」。第10回は「土木が広がる。」をキャッチコピーに、人をつなげるイベントや情報発信を行う学生団体「Doboku Lab. (ドボクラボ)」。日本全国の土木系学生が参加可能なこの団体について、代表の西川貴章さんと、水谷昂太郎さんにお話を伺いました。



「Doboku lab.」の西川貴章さん(右:早稲田大学大学院 創造理工学研究科 建設工学専攻 海岸工学研究室)と水谷昂太郎さん(左:東京都市大学 計画マネジメント 秋山研究室)。Doboku lab. へのお問い合わせは dobokulab@gmail.comまで。

西川 Doboku Lab.は、全国の土木に関わる大学生、院生、高専生などさまざまな立場の人が在籍する団体です。自分たちの欲しい学びの場を自身で作るのが大きな目的です。専門で土木を学んでいても、土木業界についてはまったく知る機会がないし、先輩に聞いても、よく分からないまま就活していると言います。インターンに行ったり、合同説明会に行ったりしても、その会社のことだけとか、設計なら設計、施工なら施工のことだけしか分からない。構造的に、業界のことを理解した上でキャリアを選択するのが難しい。それが土木業界の課題だと思ったんです。

西川 僕はコロナ世代で、実際の役割だと思っています。校、学部、あらゆる境界を溶かしていくのが、Doboku Lab.の役割だと思っています。もすべてオンライン。生の現場を一度も見ないまま卒業する人もいます。だからできるだけ生の声を聞ける機会を作りたい。学生の強みは、社会的なしがらみがないところなので、そこはどんなアプローチしています。

西川 土木は「未来へのバトン」だと思えます。東京だって、もともと人が住めるような土地ではなかったところを、灌漑をしたり、利根川の流れを変えたりして、徐々に作られていきました。今僕たちが当たり前に使っている道路や構造物もそう。そういうバトンを受け取ってきた僕たちも、500年後、1000年後に礎になるようなものを作っていきたい。そのことにつながる活動が続けなければと考えています。

「水Lab.」に登場してくれる研究室を募集します。
申し込みは
water-n.com/contact/



▲こちらから！

[特集]

DESIGN



Water-n

デザインってモノの見た目を
かっこよく整えること、だけじゃない。
そのモノの機能を使いやすく、
便利にすることもデザインの役割だし、
何か課題を見つけたら、
その解決の道筋を見つけることだってデザインだ。

モノや、コトや、社会を、
今よりもよくしようと行動するとき、その試みの中には、
必ずデザインという視点があると言えるのではないだろうか。

今号では「水」をテーマに、街や、モノや、システムを、
もっと使いやすく、楽しく、
「デザイン」している現場を訪ねてみたいと思う。



水を還す。

[Water] + [Return]

料理して、食べて、トイレに行って、お風呂に入る。
そのすべてに水が必要。
メールして、音楽を聴いて、おしゃれして、勉強もちょっとする。
そのために必要なモノを作るすべてに水が必要。

水は貴重な資源。大切に使わなくちゃだめ。
そんなことはもちろん分かってる、つもり。
でも、水ってどこからきて、
どうやって自然に還されてるかって聞かれると、
正直「なんとなく知ってる」ぐらいかも。

わたしたちの身の回りのすべてに、
誰かの、何かの、水にまつわるストーリーが秘められている。
それを感じながら生きることって、きっとカッコいい。
だから。
ふだんの暮らしの中に少しだけ「水」について考える時間を…
そんな思いで『Water-n』を編集しています。





今までの常識からは考えられないアイデアで、水問題の解決に挑む企業があります。WOTA株式会社を作るのは、次世代の小規模分散型水循環システム。使った水を大規模施設で処理するのではなく、装置の中でろ過することで、その場できれいな水として使えるようにする、ヒューマンスケールのプロダクトです。2021年10月に国際的な環境賞・アースショット賞のファイナリストにも選ばれたWOTAは、地球規模で水インフラの未来を見据えています。

WOTA

水インフラの最先端！

デザインとテクノロジーで
社会を変えるWOTAに直撃！

蛇口をひねると当たり前に出てくる水。その水がどこから来ているか知っていますか？ WOTA株式会社代表取締役CEOの前田瑠介さんのお話は、そんな問いかけから始まりました。「四国の中山間地域の育ちなのですが、上下水道がなく、湧き水にポンプを置いて、そこからホースで家々に引いている地域が多くありました。時々水が止まっても、『葉っぱが詰まったんだな』と、掃除に行けば直る。この水は飲めないとか、あそここの水はおいしいとか、そういう生活感覚がありました。それが東京に来たら、水がどこから来ているかを誰も知らずに暮らしていて、災害時にどうすればいいかわからない。地元ではヒューマンスケールだったものが、完全に乖離している。そこに衝撃を受けて、上下水道の仕組みに対して、もっと別のあり方があるのではないかと考えました」

都部の大規模集中型水インフラに違和感を持ったという前田さんですが、日本の水処理分野が遅れているかというと、そうではないそう。「日本の水処理は、運用水準としては非常に高いんです。ただ、多くの浄水場や下水処理場はそれぞれ異なる仕様で作られているため、ノウハウを共有しづらいんですね。酒蔵のように、ある場所ですぐまくいく方法論が、別の場所では使えなかったりする。だから輸出するのが難しいし、輸出しても現地の方だけで運用するのが難しい。当社は水インフラを製造業の視点でなるべく標準化することで、誰でも同じように使えるようにしたいんです」

誰が必要な時に必要な分の水インフラを

持てるようになったら、水分野のどのような課題解決につながるのでしょうか？『なぜ上下水道がいまだに全世界に普及しないんだろう』と考えた時に、個性がネックだと思ったんですね。自動車もスマートフォンも世界中に普及しているのに、水インフラだけが違う。なるべく早く水問題を解決するには、製造業的な視点が要るのではと思っています。技術的な前提が変わってきて、現状の水インフラにも限界がきている中で、もうちょっと素朴に、人間的なスケールの水インフラが必要ではないか。同時に、それはサステイナブルなプロダクトであるべきだと考えていった時に、ひとつのデザインとして小規模分散型の水循環システムに帰結しました」

WOTAが開発した小規模分散型の水循環プロダクト、WOTA BOXとWOSHは、使用した水の98%以上を循環して再利用できる、まさにサステイナブルな製品。元開発責任者で、現インキュベーション責任者の山田諒さんが開発秘話を教えてくれました。「いかに誰でも使えてメンテナンスできるプロダクトにするかには、かなり試行錯誤がありました。なるべくマニュアルがない環境で、水処理の知識がない方でも操作ができる仕様にしていきます。水処理に関しては、安全性が最優先なので、水処理をいかに自律制御して安全に水を循環させるかを開発してきました。WOTA BOXもWOSHもほぼ同じ仕組みで、膜処理に塩素と紫外線を組み合わせて浄水し、全体を自律制御しています」

革新的な発想で、ユニークなアイデアを形

WOTA BOXの中。前から見える4つのフィルターと、後ろ側にある2つのフィルターで水をろ過している。



「水処理や衛生工学だけでなく、建築やデザイン、データサイエンス、大手メーカーで何十年も製造業に携わってきた技術者など、かなり専門性が異なる人間が集まっています。水処理の人間からしたら当たり前のことが、全然そうではない。水処理と他分野を比較できるので、面白い発想が生まれるとしたら、面白いメンバーが集まっているおかげです。また、世界的な水問題や気候変動の問題がある中で、我々みたいなちよっとラディカルなアイデアを持った人たちが、行動を起こしていくことが大切だと思います。自分もそういうアクトーでありたいし、そういう世の中になっ

実際に
体験して
みました！

WOSH



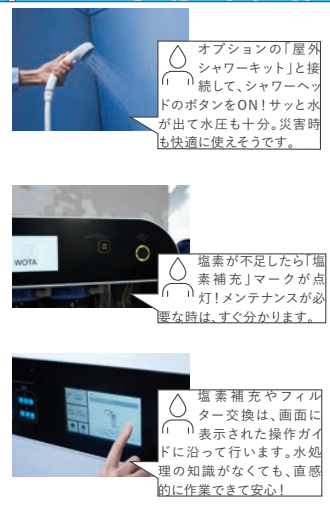
水循環型手洗いスタンド。台の周りをぐるっと囲む光のリングで、「正しい手洗い」として推奨される30秒間をカウントしてくれる。軟水によるやさしい洗い心地とスマートフォン除菌機能も特徴。

差し込み口にスマートフォンを近づけると、パカッと口が開き、静かに吸い込まれていきます。メカニク的な仕様に編集部一同大興奮！

青い光のリングが一周する30秒間が、手洗いの時間。いつもの手洗いが楽しい体験になりました！軟水効果で、心なしか手がしっとりした気も。

WOTA BOX

ポータブル水再生プラント。シャワーキットなどのオプションユニットと接続することで、水道がない場所でも水を使うことができます。これ1台で、50人から100人の規模の避難所で避難者の方がシャワーを浴びることが可能に。



オプションの「屋外シャワーキット」と接続して、シャワーヘッドのボタンをON！サッと水が出て水圧も十分。災害時にも快適に使えそうです。

塩素が不足したら「塩素補充」マークが点灯！メンテナンスが必要な時は、すぐ分かります。

塩素補充やフィルター交換は、画面に表示された操作ガイドに沿って行います。水処理の知識がなくても、直感的に作業できて安心！



竹芝の水域はとても穏やかで「東京湾のゆりかご」と言われるほど。人の手が加わって生物多様性が高まっている状態である「里海」を都市で体験できる貴重な場所。

日常と非日常が共存する水辺空間

先進的なビルが建ち並び、有名企業のオフィスも多く存在する竹芝。今ではビジネス街の印象が強いものの、江戸時代には海が広がる漁場でした。魚売りが主人公の古典人情落語「芝浜」の舞台も、実はこのあたり。約90年前の埋め立てによって生まれたこの土地は、商業都市でありながら、伊豆七島と都心を往復する船の発着場であり、浜離宮恩賜公園など豊かな自然にも出会える場所。利便性と憩い、日常と非日常、さまざまな要素が共存しているのが、竹芝の密かな魅力でした。その特徴を生かしたまちづくりによって生まれたのが、このウォーターズ竹芝です。

劇団四季の3つの専用劇場「JR東日本四季劇団「秋」そして「自由劇場」、商業施設の「アート竹芝」、ラグジュアリーホテル「メナム東京、オートグラフコレクション」などの施設の間に、汐留川や東京湾を眺めながらゆつくりとくつろぐことができる広場とテラスが広がっています。ちょっとした優雅なランチタイムに、仕事の合間の休憩時間に、水辺を眺めながらビール



月一回の「竹芝干潟オープンデー」では誰でも自由に干潟を楽しめるほか、親子で参加できる自然観察プログラムも用意されている。

そしてウォーターズ竹芝の水辺は、憩いの場以外の役割も備えています。船着場は、その名の通り水上バスやクルーズ船が発着する場所。浅草、お台場、葛西など、水辺のまち同士をつなげています。かつての江戸が水運で栄えたように、陸運との結節点となるべく、新たな水運の要となる可能性を秘めています。

また干潟は、環境再生や環境学習の場として整備されています。かつて東京湾に多く生息していた貝類や甲殻類、底生魚（ハゼ科など）やその他魚類などの多様な生き物が生息できる場所となるよう、関心や共感の輪を広げ、干潟再生の体験やアクションを通じて「豊かな江戸前の海」の再生を目指しているのです。環境学習として生態系を学べるのはもちろんですが、

水辺ならではの役割

で乾杯……さまざまな人が、それぞれの楽しみ方で時間を過ごす場所になっているのです。

多様な人が集まる土地の「豊かさ」

クリーン活動などを通して、マイクロプラスチックをはじめとした東京湾のごみ問題に触れられるのも、この水域ならではの。

この水辺の開発は、一般社団法人竹芝エリアマネジメントと東日本旅客鉄道(株)が、竹芝地区の利便性・魅力向上に向けた取り組みの一環として、竹芝エリアマネジメントが「ウォーターズ竹芝」の前面の汐留川の占用許可を受け、東日本旅客鉄道が船着場・干潟を整備しました。また東京海洋大学水圏環境教育学研究室、海辺つくり研究会、(株)水辺総研、ココベリプラス、箱根植木(株)をアドバイザーに迎えて、東京湾再生や協働プログラムを運営するなど、さまざまな立場の人たちに支えられています。

本来備えていた地域の魅力に加え、官民学、そして地域の人々と、さまざまな立場の人が関わるからこそ、ウォーターズ竹芝は多面的な魅力を持ったエリアになっています。人も、自然も、生き物も、無理なく共存して、多様性から生まれるつながりが豊かなまちを育てていく。そんな風に未来をデザインしていくことが、これからのまちづくりに期待されることなのかもしれません。都市と自然が共存することで、どんなまちへと発展していくのか、これからの姿も楽しみにしたい水辺空間です。



ウォーターズ竹芝

〒105-0022
東京都港区海岸1-10-30
waters-takeshiba.jp

竹芝干潟オープンデーなどのイベントについては、公式ウェブサイトの「イベント&ニュース」でご確認ください。

水辺をリ・デザインするまちづくり

ウォーターズ竹芝

2020年10月、JR山手線「浜松町駅」から徒歩6分の場所にオープンした複合施設「ウォーターズ竹芝」。この場所の大きな特徴は、「船着場」や「干潟」を兼ね備えた水辺に臨んでいること。都市と自然、人と生き物、日常と憩いが重なり合う、新しい豊かさを持ったこのまちを訪ねました。



3 step of MUJI's Water project

水プロジェクトの3つの流れ



01

持ち運ぶ

水ボトルを中心とした、マイボトルの利用促進の取り組みを行っている

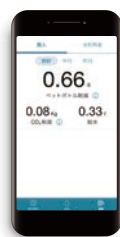
水を汲むためだけに
お店に入ってもOK!



02

詰め替える

無印良品の各店舗やその他の施設に給水機を設置。無料で水を汲むことができる



03

つながる

アプリに給水記録を入力すると、ペットボトルの削減本数やCO₂削減量を表示。近くにある給水場所も確認できる

れなりにするものばかりでしたので、お買い求めやすい金額で、かつ繰り返し使っていただけのボトルであることを重視しています」

— アプリも開発されているところもユニークだと感じました。

「東京都水道局が『Tokyowater Drinking Station』として紹介している、公共施設の給水スポットなどの給水情報をまとめることで、給水習慣をサポートできればと考えました。そこで、アプリを使って全国の給水スポット約1500カ所を地図上に配置して、見えるようにしました。おかげさまで、累計18万ほどダウンロードしていただいています」

— 給水情報の共有以外で連携を取っている自治体もありますか？

「熊本市さんとは包括連携協定を結んでいまして、一緒に水に関する活動を行っています。小中学生向けの出前授業、熊本市が会場となって開催された『アジア・太平洋水サミット』への参画、市内8カ所での給水機設置などを通じて、市民の皆様が水や環境について考えるきっかけづくりに励んでいます」

— 給水機を利用している方からはどんな反響がありますか？

「やはり、店舗近隣にお勤めの方やお住まいの方から、給水できて便利だとお声をいただくことが多いですね。マイボトルを持ってい

も、給水できる場所って意外と少ないので」

— 確かに、気軽に給水できたら便利ですね。

「あと実は、働いているスタッフからも好評で。無印良品で販売している水に溶かす粉末ドリンクで味変したり、水を一度に飲み切れる分だけ入れて、こまめに補充したりと、いろいろな使い方をしているスタッフがいいます。ペットボトルの水と比べて、それぞれの飲み方に合わせられるのもいいですよ」

— 今後の展望について教えてください。

「プロジェクトのことを知っていただくために、国内店舗への導入をさらに拡大していきたいです。現時点では日本国内に350店舗ほど導入していますが、店舗もどんどん増えていますので導入率を上げたい。さらに、給水スポットを生活拠点に増やして欲しいというお客様の声に応え、自社内に限らず他の企業や熊本市さんのような地方自治体と連携して、水や環境のことを考えるきっかけとなる機会を増やしていきたいと考えています」

— では、最後にメッセージをお願いします。

「ぜひこの水プロジェクトに参加していただきたいです！ 水を飲むという日々の習慣の中にも、より環境を意識した行動ってあると思うんですね。この取り組みに共感していただき、『みずから、はじめよう』と思ってもらえる方がひとりでも増えれば嬉しいです」

広めの飲み口

飲みやすさや水の入れやすさだけでなく、ボトルの洗いやすさも計算されたサイズに

平たい形状

持ち運びやすい形はリュックの横ポケットにもすっぽり収まる



素材の厚み

軽さと強度を両立した絶妙な厚みもこだわったポイント

不要になったボトルは店頭で回収も行っている。

What is MUJI's Water Project?

無印良品が
全国で取り組む 水プロジェクトって？

「みずから、はじめよう」そんなコピーを掲げて、無印良品が行っているプロジェクトがあります。水を汲むボトルの販売、給水機の設置、水アプリの開発などの取り組みは、すべて水を飲む習慣を通してごみ問題や環境について考えるきっかけになればと企画されたもの。良品計画・食品部の渡邊翔太さんに、水プロジェクトに込められた思いを伺いました。みなさんも、マイボトルで水を飲むところから始めてみませんか？

— 水プロジェクトが生まれる背景には、どのような問題意識があったのでしょうか？

「きっかけはごみ問題です。海洋プラスチックなどが社会的に問題となっている中で、食品部でもできることはないかと考えていました。その頃、まだ無印良品では飲料水をペットボトルで販売していたんですが、水を繰り返し詰め替える提案ができれば、少しでもごみの削減につながるのではと思ったんです」

— 給水機の設置だけでなく、水ボトルも販売されていますね。

「はい。店頭で水を販売しなくなると、マイボトルを持っていない方はその場で水が飲めなくなってしまうんです。ですので、気軽に購入いただけるボトルの開発も必要でした。従前もボトル類はあったのですが、値段がそ



遊び方

地図上に表示されているマンホールのふたのうち、まだ撮影されていないものを見つけ、アプリの指示に従ってパシャリ！ 劣化具合などのボタンをタップで選択してから写真を投稿する。撮影ガイドが表示されるので安心して写真撮ることが可能。また、他の人が投稿した写真の評価も行うことができる。こちらにもタップするだけなので簡単！

学生さん大募集！

Whole Earth Foundationでは、「地元で『マンホール聖戦』を開催したい!」という学生さんを募集中！ 興味のある方は、Whole Earth Foundationのお問い合わせフォーム (ja.wholeearthfoundation.org/#contact) まで。



社会課題を ゲームで解決する 「マンホール聖戦」

老朽化が進んでいるマンホールのふた。しかし、自治体がひとつひとつ点検するとすると、莫大なコストがかかるもの。この課題を解決するために作られたのは……なんとゲームアプリ！ 約3万人がプレイし、約70万基のふたの情報収集に成功した「鉄とコンクリートの守り人」と、それを使ったイベント「マンホール聖戦」について、運営するNPO「Whole Earth Foundation (WEF)」の世良信一郎さん、栗原理沙さんになつぷり語っていただきました。

栗原さん「マンホールのふたって全国に約1500万基あるんですが、そのうち約300万基は老朽化しているというデータ（※1）があるんです。点検・修繕していかないといけないのですが、それを自治体が行うには、お金も時間もかかります。これをどう改善していくかということが、課題としてま

ずありました」
世良さん「でも、自治体が調査するにも限界がありますよね。そこで発想を転換して、市民のみなさんに協力してもらえば、もっと簡単に情報を集めることができるのではないかと考えました。最初は情報を寄せてもらって、かわりにお礼を贈る仕組みを作ってみたのですが、リワードが出て、さすがに人は簡単には動かない。どうしたら楽しみながら参加してもらえるかを考える中で、チームのひとりが温めていた、ゲーミフィケーション（※2）のアイデアが出てきたんです」
栗原さん「確かに『インフラ管理をしましよ

う』という堅い入り口だと、なかなか入りにくい部分がありますよね。できるだけ間口が広く、気軽にゲームとして楽しみなが、その先にインフラを管理できる仕組みにしようということで、『鉄とコンクリートの守り人』、通称『鉄コン』の開発に至りました」
世良さん「WEB版の開発からスタートしたのですが、最初はギミックも最低限にしています。ただ、基本的な機能、①写真を撮る、②マンホールのふたの位置情報を特定する、③レビューする、の3つは変わっていません。多くの方にプレイしてもらい、ユーザーからのご意見を元に、改善を重ねながら進めていきました。撮影した画像を軽量化する仕組みなどの機能面だけでなく、ゲームのエンターテインメント性、例えばワンちゃんと散歩に行くようなストーリーにしたのも、あとから実装した工夫ですね」

栗原さん「そして、この『鉄コン』を使って1〜2カ月ごとに開催しているのが『マンホール聖戦』です。自治体との共同開催とWEFの自主開催の両軸で展開し、『この地域のマ

「#マンホール聖戦 in 三島」の表彰式の様子。このイベントでは約1万基のマンホールのふたの情報収集を2日間でコンプリート。実際に4基のふたの交換につながったのだそう。



日本全国のマンホールのふたを守り人（プレイヤー）が力を合わせて撮影し、ふたの状態を投稿したり、写真のレビューを行ったりしながら、インフラの安全を確保することを目的とした「社会貢献型位置情報ゲーム」。



▲iOS

▲Android

※1管路とマンホール蓋の老朽化の現状－日本グラウンドマンホール工業会 <https://jgma.jp/manhole-cover/aging-status/>
※2ゲーミフィケーション：ゲームの要素を、ゲームを目的としない他のジャンルに応用すること
※3UX: User Experience (ユーザーエクスペリエンス) の略。
ユーザーがプロダクトやサービスを通じて得られる体験のこと

What is D&I management? D&I経営ってなに？



多様性には、人種や性別といった面だけでなく、
ライフスタイルや価値観など内面も含まれます。

ちよつとまじめに水のこと

vol.11

Let's study
about water

「D & I」とは「DIVERSITY & INCLUSION」の頭文字。ダイバーシティは多様性や相違点のこと。ビジネスの場においては、人種・国籍・民族・宗教・性別・身体的特徴・ライフスタイル・価値観などさまざまなアイデンティティを持つ人々が集まることを指します。多様性が新しいイノベーションや価値を生み出すようにマネジメントしていくことを「ダイバーシティ経営」と呼びます。

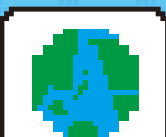
多様な価値観やライフスタイルを持つ人材の雇用は、新しい発想やアイデアの活性化につながるというメリットがある一方、日本型の雇用システムは「多様性」が浸透しづらいという側面がありました。「男性は総合職、女性は一般職」「新卒採用」「終身雇用」「年功主義」などによって均質的な集団を作ることによって合理的なマネジメントを進めてきた企業においては、多様性を受け入れるということに抵抗を感じる人も少なくありません。そこで重要になるのが「インクルージョン」という考え方です。インクルージョンとは、「取り入れる」「受け入れる」と。ひとりひとりがお互いの違いや多様性を受け入れ、尊重することで認め合える環境を整えて初めて、多様性を持った人々が活躍できるようになります。協調性を重んじる場面の多い日本の企業においては、役割やポジションを超えて発言できる場づくり、つまりインクルーダイバーシティと同様に大切なことです。水を選ず企業でも、D & Iの取り組みが進められています。



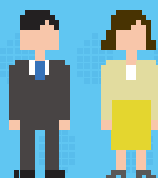
水を還すお仕事図鑑

water-n picture book

world



海外の水を守る
お手伝いも
やってるよ



government

Step1

国

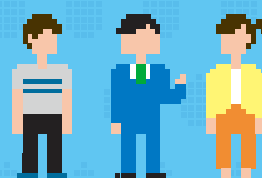
〔国土交通省/環境省/農林水産省〕

政策
(法律、予算、技術基準など)を
決定

Step2

自治体

下水道計画・
生活排水処理計画・
経営計画などを策定



municipality

コンサルタント

計画・設計・
経営などを
サポート



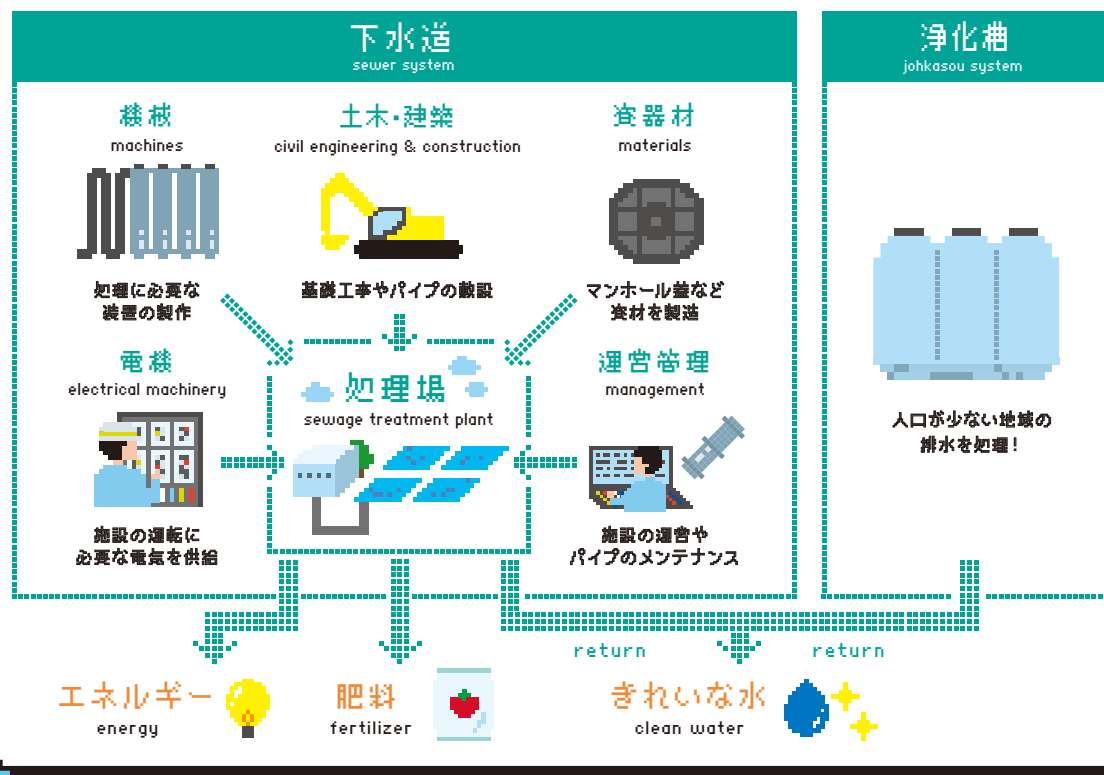
consultant

使った水を還すためには、
国、自治体、企業、
さまざまな人が関わっている。
どんな仕事があるのか、
見てみよう！

Step3

水を還す施設

Facilities for returning water



2〜3年先の計画を
立てることもあります！

誰にでも誇れる
業務内容です！

田村昂也さん

入社7年目。東京本社の第一事業部に所属。自ら提案して装置を導入した現場で、お客さんに「負担が減ってラクになったよ」と言ってもらえるのが喜びだそう。

光安勇太さん

入社7年目。大阪営業所の第一事業部に所属。水業界に入った動機は、「何十年と仕事をするなら、不変的な価値のある『水』と向き合いたいと思ったから」。

設計段階の作図から、
販売や配置、設置後の
メンテナンスまで担う、
水処理業界の若きエースに
インタビュー！

田村さん(左)と光安さん。職場ではスーツだが、装置を導入する現場には作業着で向かうことが多いんだそう。

水を通して豊かな地球環境を守る、
水処理機器メーカー、広洋技研で営業として活躍するおふたりに、
お仕事や水業界のことをお聞きしました。

H2男

(えいち つうお)

現在のお仕事内容を
教えてください。

田村 水処理機器を販売する仕事です。職種でいうと「営業職」ですが、当社は少数精鋭なので、設計段階から作図して、配置に関する提案、機種選定、価格や納期の調整を進めて、導入後の維持管理のサポートまで全て行います。ですので、業務範囲としてはすごく広いんです。

光安 僕も同じ営業ですが、ただ売るだけではないので、みなさんがイメージされる「営業職」とはちょっと違うかもしれませんね。水処理機器は工場や浄水場、下水処理場、最近では小水力発電設備のある施設にも導入いただいています。水をきれいにする機器から派生して、異物がモーターに入って詰まらないようにするためのごみをよけるネットのような設備なども販売しています。

水業界で働く中で、
水に対する意識に
変化はありましたか？

光安 はい。蛇口から飲める水が当たり前に出てくるのがどれだけ貴重

「水量や水質、現状の設備などいろいろな条件がある中で、ベストな提案を考えるのが面白いです」(田村さん)

田村 水のことを勉強する中で知った事実ですが、人が飲めるぐらいきれいな水って、地球を満タンにした湯船に例えると、コップ一杯分ほどしかないくらい。あとは全部海水や汚水なんです。水が多い星ですけど、人が飲める水は限られている。だから、コップ一杯分の水をなるべくきれいに循環させて使おうという感覚は、この業界に入ってから初めて身につきました。業務自体は個人と個人のやりとりにはなるのですが、視点を高くしていくと地球規模で考えられるやりのある仕事です。地球に住むひとりとして、活躍している感覚を感じられる瞬間があるのかなと思います。



「若手の僕たちの意見を積極的に聞いてくれる社風も、モチベーションにつながっています」(光安さん)



水にまつわるむかし・いま・みらい

川沿いのオープン化で 賑わう渋谷川



谷駅東口の地下から流れる渋谷川は、新宿御苑に水源を持ち、渋谷区と港区を流れて東京湾に流れ込む全長約10kmの川でした。流量豊富で、支流の河骨川は『春の小川』の舞台になったといわれています。その一方で、「谷」の地形を持つ渋谷は水が流れ込みやすく、渋谷川は度々なる洪水被害に見舞われます。そのために昭和初期と平成の二度にわたり大規模な護岸改修工事を実施。そして高度経済成長期には首都高速道路や国道246号などの整備のために渋谷川は東側に移設され、暗渠化する工事が進められます。渋谷川は時代につれてその姿を少しずつ変えていきました。

当時は暗渠部分が多く、開渠（ふたをされていない）部分も水流がほとんどなく川のせせらぎを見ることができなかった渋谷川ですが、1995（平成7）年に清流復活事業がスタート。新宿にある落合水再生センターで高度処理された再生水を利用し、水質の向上や水流の回復を目指します。また建物や川岸まで密集し歩きづらく、コンクリート三面張りや護岸されているために地域に親しまれる場になりづらかった河川の周辺を、河川法による河川占用の特例制度を活用してオープン化。渋谷駅の再開発計画に伴い、緑化や遊歩道の整備によって緑と水のある憩いの空間とする計画も進められました。

こうして現在の渋谷川は、2018年にオープンした



渋谷川の遊歩道「渋谷リバーストリート」。
ライトアップやイベントなども行われる。

渋谷ストリームを起点として多くの部分が開渠となりました。ビルの敷地内にある広場と河川周辺を一体化させ、渋谷川のせせらぎを感じられる新たな憩いの場として整備されつつあるほか、川沿いの遊歩道には、オープンカフェや川を眺めながらくつろげるスペースが誕生。お昼時になるとキッチンカーが並び、川周辺でランチをとる人の姿も見かけるようになりました。この遊歩道は、同じく2018年にオープンした保育所やホテルなどの複合施設、渋谷ブリッジまで続いています。

今後も川沿いでは、歴史ある祭りや地域の活動を支援し、渋谷という街のシンボルとなる空間を目指していく予定です。さまざまな人が行き交い、文化の発信地でもある渋谷。歴史を感じつつも人で賑わうスポットが、またひとつ形成されつつあるのです。

WE ARE WATER-N COMPANIES!

いい水を感じたら、私たちのことを思い出してください。

私たちは水と歩み続ける会社です。

暮らしのインフラを支え未来を拓くDNA

東亜グロウト工業



VERTEX

ベルテクス株式会社



水インフラのチカラに。

ISHIGAKI
株式会社 石垣

誠実を旨とし 優れた技術者を育て
良い作品を残す

Tec
株式会社 東京設計事務所

水をつくる、いかに、考える。

FUSO
株式会社フソウ



PROTECT×CHANGE

Daiki AXIS
株式会社 ダイキアクシス



NJS
水と環境の Consulting & Software



M-fine 阿波製紙株式会社
MBR用浸漬膜ユニット Partner of Water

水から経済・社会・地域を 考えるWebジャーナル

Mizu Design



「インフラ」「まちづくり」「環境・エネルギー」「安全・安心」「公民連携」「地域活性」「モノづくり」「ESG経営」「文化・伝統」「食」…。多種多様な社会情勢を「水」でつなぎ、「水」を基軸とした統合的な情報を発信します。すべての記事が無料で閲覧可能。ぜひ研究や仕事にお役立てください！

mizudesign
journal.com

日本ノーディグテクノロジー株式会社

NNT

非開削工事のプロフェッショナル

浄化槽
システム協会 JSA

水・廃棄物・エネルギー管理を
通じた環境サービス

VEOLIA

ヴェオリア・ジャパングループ公式
www.veolia.jp @Veolia_Japan

水のインパクトカンパニー

株式会社 日水コン

環境技術で世界に貢献する

TSK 月島機械



ShinMaywa
VISION WITH INSIGHT



NSS 日本水工設計

株式会社 広洋技研
KOYO ENGINEERING CO.,LTD



Water Project
わたしたちは、
ウォータープロジェクト
参加企業です。

OEC
オリジナル設計株式会社

MEIDEN
Quality connecting the next
株式会社 明電舎

自己処理型水洗トイレ

未来くるBOX 誕生!

(株)グリーンハート・インターナショナル



くらし、産業の基盤を支える 水・環境トータルソリューションカンパニー

メタウォーター株式会社 METAWATER

極東技工コンサルタント

EARTH WATER CREATOR

www.kgc21.co.jp

HINODE

日之出水道機器株式会社

www.hinodesuido.co.jp



猛暑の夏はスイカで おいしく水分補給！

暑い夏の日のおやつには、水分たっぷりのスイカがおすすめ。90%以上が水分のスイカは、汗で失われがちなミネラルを含むうえ、体内の熱も逃がしてくれて熱中症対策にぴったり。持ちやすい大きさに切ったスイカをザルなどにこすり付けば、種を取りながら簡単にスイカジュースができますよ。少しだけ塩を加えてスポーツドリンク代わりに飲むもよし、凍らせてシャーベットにするもよし。製氷皿に入れてスイカ氷にするのも◎。



水辺を遊びつくすための 新感覚ホテル

浅草駅からとうきょうスカイツリー駅間の高架下に広がる「東京ミズマチ」は、墨田川沿いを散歩しながら、グルメスポットやボラダリングをはじめとしたスポーツも楽しめる水辺空間。この東京ミズマチ内に、昨年1月オープンした都市型ホテル「WISE OWL HOSTELS RIVER TOKYO」は、勉強にも、仕事にも活用できるシェアスペースを備え、旅と日常の間のような使い方ができる場所。川沿いのさわやかな日差しが気持ちよく、すべての宿泊スペースに、良質な睡眠がとれるシモンズのベッドを完備しているのもうれしい。自宅での仕事や勉強に飽きたら、こんな水辺の場所で1日を過ごしてみるのもおすすめです。

WISE OWL HOSTELS RIVER TOKYO
<https://wiseowlhostels.com/ja/>

次号は「CULTURE(予定)」(2023年1月発行)

編集後記

- WOTAの前田社長が学生時代に研究室でこの冊子「Water-n」を見て、水×デザインという同社と同じ理念であることに感銘してくださったそうです。とってもうれしい(Saki)
- 無印良品のティーバッグ「ルイボス&黒豆茶」がマイブーム！給水スポットを使って持ち歩きにも活用中(Aya)
- WOTAさんの水循環型手洗いスタンド「WOSH」の新しい手洗い体験にワクワクしました！(Memi)
- 休日にウォータース竹芝で、のんびり過ごしたいです！(Natsu)
- 「マンホール聖戦」みたいに楽しみながら社会のお役に立てるって素敵ですね！(Ayami)

発行日：2022年8月1日
協力：国土交通省下水道部 / 環境省水・大気環境局水環境課  Water Project
環境省環境再生・資源循環局浄化槽推進室 /
下水道広報プラットフォーム未来会

STAFF

Publisher 奥田早希子(一般社団法人 Water-n)
Editor 田尻彩子(有限会社モッシュブックス)
松原芽未(有限会社モッシュブックス)
Art Direction 古田ナツ子(ありがとう株式会社)
Designer 上村文美(ありがとう株式会社)
Illust 古田ナツ子・上村文美(ありがとう株式会社)
Printing 大日本印刷株式会社

一般社団法人 Water-n
〒107-0062
東京都港区南青山2丁目2番15号 ウィン青山 942
water-n.com/

! Water-n × Culture

水にまつわるカルチャーと、Water-n 的ミミヨリ情報を紹介！

1人当たりが 備蓄すべき水の量

9L

参考
首相官邸「災害に対するご家庭での備え〜これだけは準備しておこう!」
<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/bousai/sonae.html>
農林水産省「災害時に備えた食品ストックガイド」
<https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/foodstock/guidebook.html>

大規模な地震や自然災害が発生してまず困るのが、水の問題。自宅に飲料水の備蓄はありますか？ 大人1人に必要な水の量は1日3L。それを最低でも3日分確保しておこうという目安が9Lという数字なのです。同居している人がいる場合は、9L×人数分を用意しましょう。しかもこれは最低限の量なので、可能なら7日分以上備蓄できると安心です。さらに、大規模災害時には飲料水と別に手洗いなどに使える生活用水の確保も重要です。湯船に水をためたり、タンクに水を入れておいたりなどの備えも、いざという時に役に立ちます。ただし、水を使う時は宅内配管や下水道管の破損状況に注意しましょう。

もちろん、水だけでなく食料の備蓄も大切。最低3日分の食料として、ごはん(アルファ米)やビスケット、レトルト食品などを用意しましょう。災害直後はたんぱく質やビタミンが不足しがちになるので、缶詰や野菜ジュース、ドライフルーツもおすすめです。もしもの時に私たちを支える水や食料。ぜひ、今のうちに準備しておきましょう。

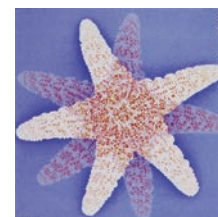


「コード あいのうた」

シアン・ヘダー 監督
(Amazon Prime Videoにて配信中)
©2020 VENDOME PICTURES LLC,
PATHE FILMS

海辺の町で暮らす 家族の愛の物語

聴覚障がいを持つ両親と兄との4人家族の中で、ひとりだけ耳が聞こえるコード(CODA: Children of Deaf Adults)のルビー。“通訳”として家業の漁業を手伝いながら高校に通う彼女は、新学期に合唱クラブに入部したことで生活が一変。ルビーの歌の才能に気づいた顧問の先生に、地元から離れた名門音楽大学の受験を薦められるのですが……。夢と今の生活の間で葛藤しながら成長するルビーと、お互いを思いやる家族の姿は、応援したくなること間違いなし。ジョークも交えた豊かな手話表現の幅広さにもハッとさせられます。



「夏の魔物」

スピッツ
[収録アルバム]
「スピッツ」
(Universal Music) より

夏の魔物の正体は？ スピッツ初期の大名曲

朝ドラ主題歌、映画主題歌を手がけるなど、国民的バンドのひとつであるスピッツ。草野マサムネ(Vo/Gt)のさわやかな声ときらめくサウンドに、クリーンなイメージを持つ方も多いはず。でも、初期のスピッツは性と死を歌った曲が多いことを知っていますか？ 「夏の魔物」は1stアルバム『スピッツ』に収録されたナンバー。刹那的なイントロ、そしてドブ川を越えた逃避行の先に待ち受ける「夏の魔物に会いたかった」の意味とは？ うだる夏の日、歌詞の世界の幼いふたりの行方に思いを馳せれば、スピッツのまた違った一面が見えてきます。